

飲酒運転撲滅宣言企業 株式会社 福岡市自動車学校



○ 株式会社 福岡市自動車学校 様の紹介

『地域との安心と信頼を築き、交通事故率0の実現を目指して』

昭和41年に現在の福岡市東区に開校し、教習生を安全な運転行動のとれるドライバーとして交通の場へ送り出している歴史あるプロの交通教育機関です。

従業員一同、教習生との出会いを大切に、「満足から感動へ」を合言葉に「安心と信頼」を築き、地域から愛される自動車学校を目指しています。

また、入校中の免許取得のサポートは勿論のこと、生涯交通事故「0」を達成するための考え方や運転行動を伝えることこそ使命と考えています。



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組

① <<飲酒運転撲滅のための管理体制の整備>>

- ・就業規則の規定に基づき、従業員が飲酒運転や、飲酒運転と知りながら同乗を行った場合等に関しては、事実関係に基づいて厳正に対応することとしています。

のぼり旗やポスターの設置!

② <<従業員等への広報啓発活動>>

- ・飲酒運転撲滅ののぼり旗の設置や、ポスターの掲示により、日頃から従業員に対する意識付けを行っています。
- ・毎月25日を飲酒運転撲滅の日と定め、朝礼で従業員に飲酒運転防止に関する指示を行っています。
- ・歓送迎会や忘年会などの開催日は、飲酒に絡む各種の事故防止と飲酒運転撲滅の呼び掛けを行っています。



③ <<従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組>>

- ・従業員全員が、入社時に就業規則の遵守を中心とした誓約書を提出しています。
- ・令和5年12月の道路交通法施行規則の施行に先駆け、令和4年9月より、車両を運転しようとする職員及び運転を終了した職員は、1日につき運転業務開始前後の2回、検知器によるアルコールチェックを行っています。
- ・日頃から、従業員の飲酒状況に関する事項を上司が把握するようにしています。

④ <<従業員等への社内研修等の実施>>

- ・教習生に対し、「酒気帯び運転の禁止」や「認知・判断・操作に飲酒が及ぼす影響」等を教習する立場であることから、毎週実施している教習内容の検討会において「飲酒運転の罰則、結果の重大性」等に関する項目を含めており、定期的に従業員の飲酒運転撲滅意識の高揚を図っています。

⑤ <<その他の取組>>

- ・教習生や高齢者講習の受講者等に対しても、従業員と同様にのぼり旗設置やポスター掲示により、飲酒運転撲滅の啓発を行っています。
- ・週3回ほど実施する卒業検定合格者の卒業式において、「今後、飲酒運転は絶対にしない」旨の訓示を実施しています。
- ・週3回ほど実施する高齢者講習の終了式において、交通事故の防止とともに飲酒運転の撲滅を呼び掛けています。

訓示の実施!



- ・地元警察署やトラック協会と連携し、トラックドライバーに対して、県内初の大型教習車を使用した 飲酒体験型ドライビングスクールを実施しました。また、NPO法人はあとスペース様とフジトランスポート株式会社様による飲酒運転撲滅を訴えるデザインのラッピングトラックを展示しました。
- ・毎年年末、飲酒運転事故の現状や飲酒運転撲滅の重要性に関することを踏まえた交通安全教育を少女苑に対して実施しています。
- ・毎年複数回、地元警察署や区役所等と連携して実施する小学生等に対する交通安全教育の中で、児童・生徒等の将来を見据え、またその家族に対する周知という趣旨からも、飲酒運転の撲滅に関する話を取り入れています。
- ・近隣大学からの依頼を受け、車両通学の学生に対する飲酒運転の撲滅を含めた交通安全指導を実施しています。



飲酒体験型ドライビングスクールの実施！

ラッピングトラックの展示！



○ 株式会社 福岡市自動車学校様にインタビューに 答えていただきました！！

Q 1 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 福岡県公安委員会指定の自動車学校として、地域における交通安全教育センターとしての役割を担っており、「運転免許取得に必要な運転知識と技能を教習し、併せて高い安全意識を身につける社会人を育成する施設」であることから、あらゆる機会を通じて従業員が一枚岩となり、交通安全教育に鋭意、取り組んでいます。

中でも飲酒運転に関しては、平成18年8月25日、当校の所在地と同じ福岡市東区の「海の中道大橋」において悲惨な事故が発生したことを受け、以前から取り組んでいた飲酒運転撲滅の活動をさらに推進しているところです。

Q 2 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 飲酒運転を撲滅させることは、我々の社会的責務としてとらえており、従業員一同、それに応えなければならないと認識し、従来から力を入れて活動に取り組んでいます。

最近では、令和5年10月9日(トラックの日)に当校で実施した実践型交通安全教室(大型車等使用のトラックドライバーを対象とした飲酒運転体験型ドライビングスクール)において、同スクールの体験者はもとより、従業員も飲酒運転撲滅の重要性を再認識しました。

Q 3 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 福岡県内の飲酒運転による事故の件数は、いまだ全国でもワーストレベルであり、令和6年においても昨年を上回るペースで事故の件数が増えています。

「飲酒運転は、絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」を常に肝に銘じ、「飲酒運転ゼロ」が当たり前という福岡県を築くため、引き続き創意工夫を凝らした各種施策を行ってまいりたいと考えています。

県民の皆様、必ずや、飲酒運転の加害者も被害者もない福岡県を早期に実現いたしましょう。